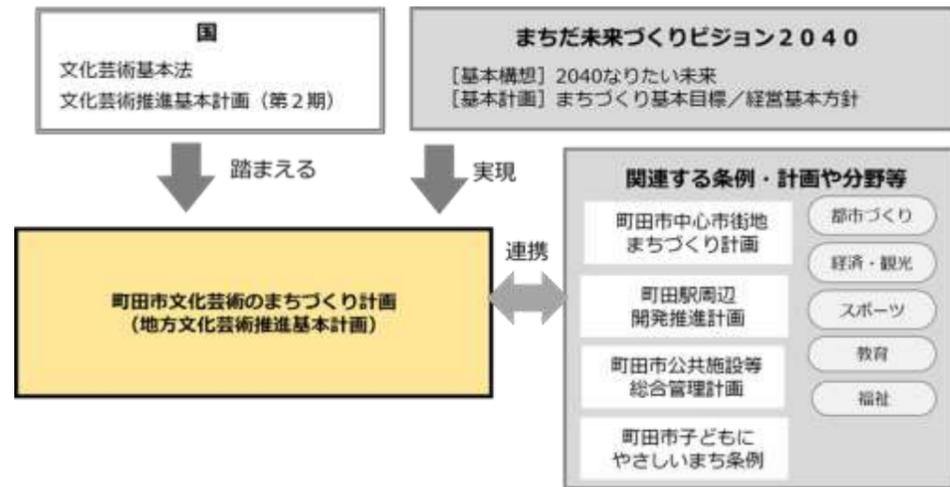


(仮称) 町田市文化芸術のまちづくり計画 素案概要

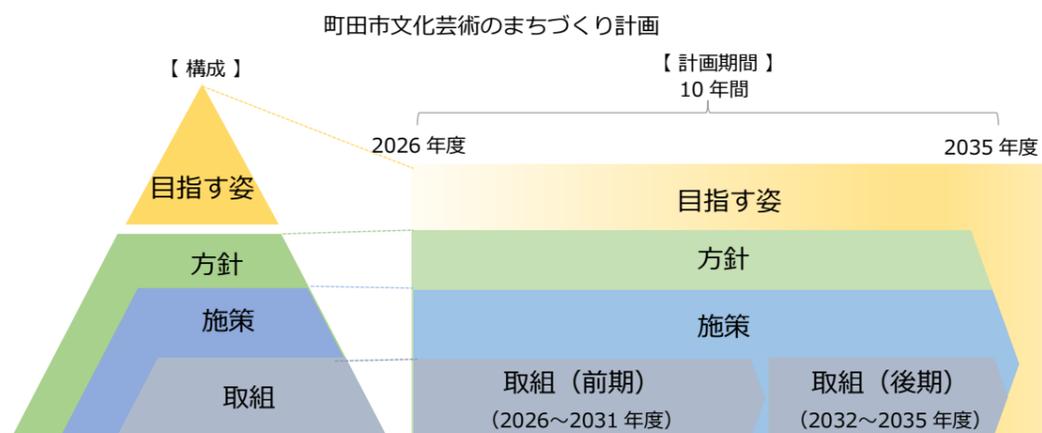
I 策定の目的

「まちだ未来づくりビジョン2040」の実現に向けて、観光や福祉、教育その他の各関連分野や、多様な主体との連携を強化し、計画的にまちづくりを進めることをもって、市民やまちづくりに関わる方々が文化芸術を楽しみ、町田市への愛着やまちなぎわいにつなげていくことを目的として策定します。

II 計画の位置づけ



III 構成と計画期間



IV 文化芸術の範囲

本計画は、文化芸術によって“まちの賑わいを更に生み出すための「まちづくり計画」として、文化芸術基本法に規定されている文化芸術の範囲に加えて、町田ならではのライフスタイルや、まちかどで生まれる新しいアート、デジタルによる新たなカルチャーなど、多様な取組等も積極的に受け入れられるよう、文化芸術を広く捉えます。

V 計画策定にあたって ※①～③のプロセスで計画をつくっています。

① 現状・課題の洗い出し → 状況把握や調査・ヒアリング等を通じて、現状を整理し、課題を洗い出しました。

社会状況の変化	現状、意識調査・アンケート×みなさんの思い	課題
<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術と様々な分野との連携が求められている。 デジタル技術が進展し、文化芸術がより身近になっている。 文化芸術を発信するチャンスが訪れている。 体験や特定の時間を重視する社会に移り変わっている。 テーマ型コミュニティといった新たな社会的つながりが生まれている。 企業の社会貢献活動が活発化している。 	<p>小規模のホールが充実している／全国レベルの演技や演奏が身近にある</p> <p>文化芸術を鑑賞する人の割合が低い／文化芸術活動団体への新規加入者が少ない／子どもへの文化芸術体験が重要視されている</p> <p>演劇表現活動に触れる機会を増やして文化芸術の町田に／活動を発表する機会を／若者に芸術文化の鑑賞と体験を／障がい者の文化芸術展示会があるといい</p> <p>日本有数の美術品を保有している／民間の文化芸術活動が盛んで、多様に展開されている</p> <p>文化芸術活動や資源の魅力がうまく伝わっていない／文化芸術分野においてデジタル技術を使った魅力発信が欠かせない／他の分野や地域・学校との連携した活動が少ない</p> <p>文化芸術面の“町田らしさ”をもっと広報してほしい／版画美術館や文学館、生涯学習センターは他市より優れている／子どもが体験できるようなイベントがほしい</p> <p>子どもや若者が文化芸術活動を始めやすい環境が揃っている／文化芸術活動の発表や練習の場の中心を担う市民ホールの老朽化／ポップ・カルチャーの郊外拠点となっている</p> <p>市民の文化芸術活動が活発に行われている／町田エリアで音楽・演劇活動が活発に行われている</p> <p>文化芸術のシンボルとなり、皆が憧れる多目的ホールがほしい／練習や制作する場がほしい／ダンスや音楽フェスなど、発表の場がたくさんあれば、町田での活動が広がる</p> <p>他市を圧倒する量・質の美術品コレクションを所蔵している／（仮称）国際工芸美術館の整備を進めている／貴重な有形文化財や遺跡が数多く残っている／無形民俗文化財の担い手が不足している</p> <p>伝統芸能を継承するには小・中学生への教育が必要／学校ではやっていないので興味がある</p> <p>市民が主体的に活動できる土壌が整っている／文化芸術団体の会員の高齢化に加え、会員数が減少している／若手アーティスト等が育つ環境がある</p> <p>市と市民が協働できる仕組みをつくってほしい／多様性を尊重するような風土をつくって活動が活発になるといい</p>	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが気軽にあらゆる文化芸術を楽しめるよう、鑑賞や体験の機会を広げる必要があります。 町田市の文化芸術の認知度を上げ、最大限に活用していく必要があります。 町田駅周辺の中心市街地再整備・再開発等を踏まえ、文化芸術を鑑賞する場や市民が活動する場を整備する必要があります。 市が誇る美術品や史跡、建造物、民俗芸能等の有形・無形文化財を適切に収集・保存し、次世代に継承していく必要があります。 文化芸術活動を未来につなぎ、発展させていくため、多様な人や団体・市民等と連携していく必要があります。
<p>町田市の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術に親しめる環境が揃っている。 一人ひとりが輝けるまちづくりを進めている。 子どもにやさしいまちづくりを進めている。 特徴的な文化芸術関連施設がある。 町田駅周辺エリアのリニューアルの機運が高まっている。 公共施設を集約・複合化して市民生活の質を高めようとしている。 		

②“目指す姿”と方針の設定

➡現状・課題を踏まえて、個々の課題に対応する方針と、10年後の文化芸術分野における“目指す姿”を設定しました。

<目指す姿>

文化芸術の土壌を育み、
10年後に花開く
文化芸術のまちづくり

文化芸術を**育み** 笑顔咲くまち
～町田で Let's stART～

ポイント

■誰もが文化芸術を楽しめる環境をつくる

■町田市の文化芸術のイメージを強化していく

■文化芸術の鑑賞・活動の場をつくる

■美術品や文化財を保存し、未来に継承していく

■文化芸術を支える多様な団体・市民等と連携していく

方針1 きっかけをつくる

施策1 誰もが気軽に鑑賞・体験できる
機会の確保

施策2 情報環境の拡充

方針2 場をつくる

施策2 活動の場の充実

施策1 施設の整備・活用

方針3 未来につなぐ

施策1 美術品や文化財の保存・活用

施策2 次世代への継承

方針4 共に創る

施策1 市民や団体等のチャレンジの
創出

施策2 企業等との共創による推進

目指す姿に込めた想い

「文化芸術を育み」・・・「育む」の言葉には、文化芸術活動のはじめの一步を踏み出すことや新たに挑戦することで技術的に上達していく、感性を豊かにしていくこと、これまで形作ってきた文化芸術を未来に継承していくという意味を込めています。

「笑顔咲くまち」・・・「素晴らしい作品に出会ったとき」、「できなかったことができるようになったとき」などに、私たちは、活力や充実感、達成感を得ます。そして、その先には、一人ひとりの素敵な“笑顔”が花開き、広がっていきます。本計画を着実に進めていくことで、10年後の町田市では、市内各地で色彩豊かな“笑顔”が咲き、賑わい続けるまちをつくっていくという想いを込めています。

③“目指す姿”実現のためのプロジェクト等の設定

➡“目指す姿”に至るために、方針に沿って戦略的に行うプロジェクトや施策、取組を設定しました。

～まちだ Smile-link project (スマイルリンクプロジェクト)～

「文化芸術を育み、笑顔咲くまち～町田で Let's stART～」の実現に向けて、文化芸術活動によって生まれた笑顔の輪を広げ、未来につなげていくため、方針1～4を横断したA～Cの3つのプロジェクトを実行し、文化芸術のスタートを踏み出せるよう、きっかけをつくっていきます。

Project A

文化芸術で“みんなの夢”を叶える
「(仮称)文化芸術版〇ごと大作戦」を
実施します

Project B

文化芸術大型イベントの実現
町田市を象徴するような大型イベントを
実施します

Project C

「文化芸術にぎわい創出エリア」の
活性化
町田駅周辺地域のにぎわいを一段と
活性化させていきます

各方針・施策に沿った“取組”

プロジェクトに加えて、方針1～3に沿って実施する取組を、方針・施策ごとに設定して、計画期間内に事業化し、実施することを目指します。

方針1 きっかけをつくる

取組①

文化芸術を身近に感じるイベントを開催します

取組②

文化芸術情報を手軽に入手できるようにします

方針4 共に創る

上記取組の実施にあたり、方針4に基づいて、多様な主体との共創やチャレンジを創出する視点を取り入れ、充実を図ります。

方針2 場をつくる

取組③

新たなホールの整備を進めます

取組④

文化芸術活動のための練習の場・制作の場を増やします

取組⑤

公共空間等でアーティスト活動ができるようにします

方針3 未来につなぐ

取組⑥

デジタルの力で、町田の美術品や文化財の魅力を伝え、未来に残していきます

取組⑦

子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やし、未来に育てていきます

VI 計画の推進にあたって

観光や福祉、教育その他の関連部署と横断的に連携するとともに、「町田市文化芸術のまちづくり推進委員会」を設置し、文化芸術の現状や実績の振り返り、評価を行い、計画の着実な推進を図ります。